

似島。在安南郡海中、古稱二島、後世島之形容以似富士山、改字號似島、二與似倭語相同故然也、一說、島形似側箕、故號箕島云々、未知孰是、

鐵輪島。在安南郡海中、倭俗鐵輪爲坐、豎施三脚小鐵柱、脚頭小屈之、以置爐中、安釜或鑊以煮物、是

曰鐵輪、是島形容似是、故曰鐵輪島、元赭赤地也、近世種松子、今蕃茂成林矣、略

倉橋島。在安南郡海中、周廻七里餘、民家數百宇、農商雜居、

江田島。屬安南郡、周廻七里、田園多、略

能見島。周圍七里許、屬佐西郡、農工商並宇連隣、船匠造船賣四方、

大崎島。周廻七里、屬豐田郡、年々出田租收海賦、

瀬戸田島。屬豐田郡、西州來往之船舶多繫焉、此處多船匠造大船小艇以賣于四方、

〔藝藩通志三八〕安藝郡 島嶼門港附

仁保島。周廻四十五町略中 江田島。周廻七里略中 宇品島。鐵輪名島の西にあり、高一町、

周廿六町、居民四十戸あり、似島。宇品の南にあり、形富士に似たり、俗に小富士とよぶ、高四町、

周九十町、居民五十戸あり、

〔大内家壁書〕從山口於御分國中行程日數事略中

安藝國略中

日當島。七日請文十九日 吳島。五日請文十五日 蒲苺島。六日請文十七日 能美島。四日請文十

三日略中

寛正二年六月廿九日

備中守 奉 秀明略下

〔道ゆきぶり〕廿日は嚴島にまうで侍、此島は峯三四ばかりそびえあがりて、み山木の年ふりたるうちにまじりて、老たる松の岩上に生かたぶきつ、磯ぎはまでまげりたり、東にさし出たる山